

令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人 神戸西助け合いネットワーク

1. 活動の成果

令和3年度は「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」と「ロシアによるウクライナ侵攻」があり、全世界に多大なる影響が出ております。日本では「新型コロナウイルス感染症」は、今も終息が見えない状態です。私たちの周りでも、濃厚接触者が出て、その対応に苦慮することが多々ありました。「ウクライナ侵攻」の方も日本にも各方面に影響が出ております。

そのような中において、須磨ニュータウンを拠点として、地域の方々のさまざまな暮らしのサポートをしてまいりまして、皆さま方のご支援により、令和3年度で満27年を迎えることが出来ました。

当法人は現在、「何でも110番」をメイン事業として、他にリサイクル事業・地球環境事業（太陽光発電・てんぷら油・発泡スチロール再生）を行っております「神戸西助け合いネットワーク 本部」、介護保険による訪問介護等の介護ステーション事業の「介護ステーション たすけあい」、福祉用具の販売・貸与事業の「福祉用具」、障がい者の作業所の「作業所たすけあい」、神戸市より委託を受けて運営を行っております「リサイクル工房あづま」、更に「居住支援事業」の6事業部で行っております。



神戸西助け合いネットワーク



介護ステーションたすけあい



作業所 たすけあい

2. 非営利活動に係る事業

(1) 地域の方々の生活をお手伝いする「何でも110番」事業

「110番」事業の内訳は「剪定・草刈」「家財の引取」「引越し」「障子・網戸の張替え」「その他」です。「その他」は「電球の交換」「水道のパッキンの取替」から「家の補修」など皆様のお困りごとをお助けいたしております。「110番」の年度の件数は513件です。その内「剪定・草刈」は129件です。「草刈・剪定」は個人宅もありますが、団地等の自治会からの依頼が多数あります。また、「家財の引取処分」は年間116件です。最近増えているのが、ご家族が亡くなられ方の「遺品整理」や、子供と同居のためや施設に入るための「引越」です。これらは「引越」と共に、家の中に残った家財の処分からクーラー・電灯などの電気製品の処分も行い、最後は清掃まで行っております。それから、今までは団地内で当番を決めて行っていたのですが、高齢化が進みゴミステーションの掃除が出来なくなり、当方に依頼増えて来ております。そして、各家庭においても高齢でゴミ出しが出来ないということで、介護保険制度外のゴミ出しを早朝に個人宅にお伺いして行っています。これらの他にも「電球の交換」「ウッドデッキの設置」など「チョットしたこと」から「大きな工事」にも対応を行っております。この様に、地域の方々のちょっとした困り事にも対応し高く評価を頂いております。

これらの「何でも110番」は神戸市の「ソーシャルビジネスモデル事業」として令和元年11月より認証を受けております。



パッカー車



箱型2トン車



「団地のゴミステーションの掃除」



「草刈・剪定処理後」



「草刈作業中」

(2) リサイクル事業

リサイクル品としては、家電製品（冷蔵庫・洗濯機など）・食器・植木鉢・家具・衣類などがあり、さらに大型商品としてプレハブ倉庫・業務用冷蔵庫の移設などもあります。要望に応じて運搬・組み立て作業も行っております。また、リサイクル事業の一貫として、出張フリーマーケット、ヤフーオークションおよびジモティーに出店してリサイクル品の有効利用を図っております

(3) 地球環境支援事業（太陽光発電・天ぷら油回収・発泡スチロール再生）

構内に設置した太陽光発電システムは1年間で27,488円を売電しました。構内の電気使用料の約10%を賄っております。

使用済みてんぷら油の回収は各地の食堂や団地に回収箱を設置しておりますので、定期的に回収を行っております。その総量は年間で3,659リットルになります。この使用済みてんぷら油は精製してバイオディーゼル燃料として再利用できます。構内に精製器を導入してバイオディーゼル燃料を作り上げております。月に200リットルを作成して、出来上がった燃料は当法人の2トントラックに使用しております。



「太陽光発電システム」



「てんぷら油回収ステーション」



「バイオディーゼル燃料の精製器」

発泡スチロールの再生のためにインゴット化する減容器は平成25年に導入して9年が経ちます。町の電気屋とか、各種機械部品の梱包材として発泡スチロールを使っているのですが、その発泡スチロールの処理に困っているところが多いようです。その処理を当方が行っており、大半の方々が、当方に持ち込んで頂いております。現在のところは有価物として、取り扱っております。令和3年度の発泡スチロール取扱量は16,231kg CO2削減効果は14,890kg-CO2となっております。



発泡スチロール減容機および処理後の商品

発泡スチロール出荷状況 単位 kg

年度	出荷重量	CO2 削減効果	単価の変動
H25	13,860	15,107	55>60>65
H26	19,740	21,517	65>80
H27	13,030	14,202	80>60>30
H28	13,180	14,367	30
H29	10,120	11,031	30
H30	11,250	12,263	61
R1	14,530	15,838	61>58
R2	15,470	16,862	58>30<32
R3	14,890	16,231	32<42<50
合計	126,070	137,418	

(4) 高齢者、障がい者の方の外出をお手伝いする移送サービス

「一般乗用旅客自動車運送事業」（介護タクシー）は、4台の車両（内3台は車いす対応車）で利用者を病院などへ移送を行っております。年間で124回の利用があり、神戸市のタクシー利用券、年間96枚を使用していただき、障がい者の利便性を図っております。



「介護タクシー車両」

(5) 自治会等の支援活動

自治会やマンション単位での「餅つき大会」・こうべ祭り（須磨区のイベント）・夏祭りなどは、新型コロナウイルス感染症の影響ですべて中止となりました。

(6) 介護サービス事業

神戸市須磨区北落合において「介護ステーションたすけあい」として介護事業を行っております。内容は「訪問介護」「介護予防訪問介護」「居宅介護」「重度訪問介護」「移動支援」「同行援護」で神戸市垂水区・須磨区を中心に利用者は27名で15名のヘルパーで支援を行っております。

(7) 福祉用具販売及び貸与事業

福祉用具関連として、「福祉用具貸与」「介護予防福祉用具貸与」「特定福祉用具販売」「特定介護予防福祉用具販売」の事業を行っております。現在の利用者は6名です。

(8) リサイクル工房あづまの神戸市委託運営管理事業

神戸市からの委託事業リサイクル工房あづまは、神戸市中央区にあります神戸市障害学習支援センター（コムスタこうべ）にて、「育児・子供用品・古本の提供と引取り」「リサイクル教室開催」「おもちゃの修理相談」「不用品リユース情報掲示板の設置」「資源回収コーナーの設置」「リサイクル啓発物品等の展示」を行っております。

(9) 就労継続支援B型事業

神戸西助け合いネットワーク本部の敷地内にて就労継続支援B型事業所「作業所 たすけあい」が就業しています。利用者は精神、知的、身体障害者13名(男性10名、女性3名)です。利用曜日：月～金(祝日を除く)午前10時から午後4時までです。当方では通勤が困難な方には、送迎も行っております。1日の始まりはラジオ体操からで、その後各自で健康管理表(体温・血圧・食事・睡眠状況等)を記入してから、各自の作業に取り掛かります。作業内容は、パチンコ台の分解作業(ネジを外し、各素材ごとに分別)、バナナジュース袋のシール貼り(今、注目の飲み物)、自主製品(帽子・靴・マフラー等でハーバーランドの小物物店「織姫」にて販売)、毎日DM便の配布、月一回の地域情報誌のポスティング、地域の集会所の清掃、週2回のゴミステーション清掃、振込用紙のゴム印押し等の各種作業を各自の能力にあったものを配置して作業に取り組んでいます。

昼食は各自が、弁当を持って来られる方や作業所の方で弁当を注文して、皆さん一緒に食事をしております。その後の休憩時間では、トランプをしたり、パソコンを触ったり、その他は職員と雑談したりして和やかに過ごしております。

一日の作業後、各自が当日の作業表の記入をします。パソコンにて日記を入力する方もおられます。

定員20名を目指し、利用者募集中です。利用者の工賃向上のために色々な作業を開拓中です。利用者のニーズに沿った支援を常に考え職員一丸となって取り組んでおります。



作業所内風景

(10) 居住支援事業

平成19年法律第112号、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給に関する法律第40条（住宅確保要配慮者居住支援法人）を受け、令和元年より、「ひょうご居住支援団体発掘・育成事業」を手がけ、令和2年4月22日には兵庫県から正式に「住宅確保要配慮者居住支援法人」の指定を受け活動しております。

令和3年度の活動は、町の掲示板等の広報活動や役所からの連絡により、生活困窮者の支援を行っております。不動産会社と連携して、住宅を確保したり、生活保護の申請に同行したり、就労支援では当法人内で、働いていただいております。相談件数は15件で、そのうち6件が住宅の成約に至っております。まだ、相談中の方々がいらっしゃいます。

また、居住支援関連のセミナーを令和3年11月18日にパティオホールにて開催しました。テーマは「住宅困窮者への取り組み」及び「高齢者の住まいのあれこれ」で講演していただき、参加者数は28名で、「アンケート」ではよい評価をいただきました

令和4年度につきましては、居住支援法人活動をより一層充実させるべく緊急避難場所の確保並びに食材を提供するシステムをはじめ、転居後の見守り活動・後見制度・死後事務委任といった老後あるいは将来的に安心して暮らせるようなバックアップ体制を整えて参ります。



(11) 神戸市ソーシャルビジネスモデル事業認証

神戸市では、社会課題に取り組むことを目的とした「ソーシャルビジネス」が注目されており、これまでにない新しいサービスを提供していることが特徴で、社会課題の解決に向けて自立的・持続的に提供されている事業を「ソーシャルビジネス」と位置付けています。

剪定・草刈や電球の交換、家の補修など様々な「助け」の中、最近では亡くなられた方の遺品整理や高齢者の施設入居にともなう転居など、私達がお手伝いできることは積極的に取り組んで参りました。



3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- ① 理事会 令和3年4月23日
開催場所 神戸西助け合いネットワーク
議事内容 令和2年度 事業報告 収支決算報告について
令和3年度 事業計画 収支予算案について
- ② 通常総会 令和3年5月21日
- ③ 開催場所 神戸西助け合いネットワーク
議事内容 令和2年度 事業報告 収支決算報告について
令和3年度 事業計画 収支予算案について

(2) 事務局体制

- 事務局長 吉岡 良成
- 事務職員 萩尾 久江

(3) 会 員

- ① 正 会 員 38 名
- ② 賛助会員 20 名

(4) 各事業部体制

- ① 神戸西助け合いネットワーク
 - ・理事長 在里 俊一
 - ・職 員 5 名 ・ボランティア 20 名
 - ・「なんでも 110 番」・「リサイクル工房」「てんぷら油・発泡スチロール再生事業」など
- ② 神戸西助け合いネットワーク 南部事務所
 - ・責任者 本岡 美智子
 - ・職 員 4 名
 - ・神戸市より委託事業（リサイクル工房あづまの管理運営）
- ③ 介護ステーション たすけあい 訪問介護事業
 - ・管理者およびサービス提供責任者 横山 和代
 - ・ヘルパー 13 名
- ④ 介護ステーション たすけあい 福祉用具事業
 - ・管理者およびサービス提供責任者 在里 俊一
 - ・ヘルパー 2 名
- ⑤ 作業所 たすけあい 就労継続支援 B 型事業
 - ・管理者およびサービス提供責任者 道岡 清美
 - ・職 員 5 名
- ⑥ 居住支援事業
 - ・責任者 吉岡 良成
 - ・職 員 1 名